

新しい遊びのスタイル



例えば、こんな楽しみ方

新しい遊びのスタイルのコンセプトは、「気のあった仲間と好みの活動を楽しむ」「無理なく、できる範囲で、活動の場を開く」「楽しんだ成果を地域に発信(還元)して役立ててもらおう」

例えば、「散歩を楽しみながらマチの魅力発見も楽しみ、そうした場を高齢者・障害者にも開き、みんなで発見したことをマップにする」という“遊び”が、たくさんの地域で行われはじめました。これも、新しい遊びのスタイルから生まれた“楽しみ方”の一つです。

“楽しさ”が笑顔をつくる。そう思える“遊び・レクリエーション”を目指して、皆さんと一緒に“はじめの一歩”を踏みだしませんか。自分流のスタイルで、無理なく、そして楽しみながら始められる、新しい遊びのスタイルを提案します。



気のあった仲間と好みの活動を楽しむ

地域や職場、学校の仲間、または家族と、月に1~2回、散歩を楽しみながら、自然や歴史、マチの風景、寄り道をすると楽しい場所、店、味など、魅力の発見も楽しめます。



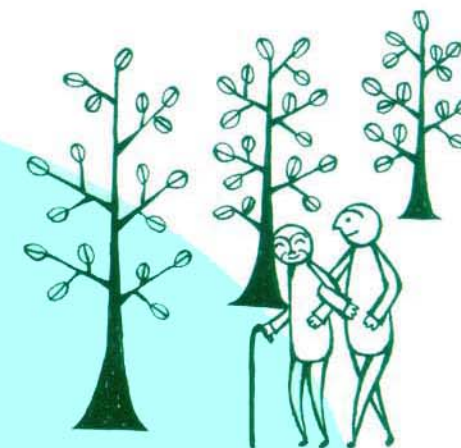
新しい遊びのスタイルを楽しむ仲間それが事業グループ

私たちが提案する“新しい遊びのスタイル”は、「こんな活動をしよう。こんな種目を広げよう」といった具体的な活動を提案するものではありません。むしろ、活動を楽しむときに共通してもつコンセプト(考え方)の提案です。

なぜ、コンセプトを提案するのか、それは…。楽しむ遊びの種類はたくさんあり、どれを選ぶかは皆さん次第です。暮らしのなかの課題も、地域や皆さんの感じ方で変わってきます。皆さんの得意なこと、皆さんが感じていること、それにあわせて遊びを組み立て、無理なく、できる範囲で活動の輪を広げ、楽しんだ成果を地域に発信する。そうしたコンセプトを共有して、新しい遊びのスタイルを共に楽しむ仲間を「事業グループ」と呼んでいます。



仲間や家族の友人・知人、地域の高齢者や障害を持つ人たちも仲間の輪に加わってもらい、一緒にマチの魅力の発見を楽しみます。高齢者・障害者がバリアフリーの視点からマチの良さを発見したりと、楽しみの輪が広がったぶん、新たな発見も増えていきます。



無理なく、できる範囲で、活動の場を開く



事業グループのコンセプト

楽しんだ成果を地域に発信(還元)して役立ててもらおう

散歩を楽しんで、発見した魅力をマップにまとめて、地域の人たちにも使ってもらえるよう、公共施設等に置いてもらいます。閉じこもりがちな高齢者・障害者を外に引き出すきっかけづくりとしてマップが生かされることで、やりがいが一層深まります。

